

第3回村上市保育園等施設整備計画審議会 次第

日時：令和3年2月12日（金）

午後2時00分から

会場：市役所5階第5会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 報 告

（1）村上地区保育園整備について

4 議 事

（1）第3次村上市保育園等施設整備計画（素案）について……………資料1《事前配布》

5 その他

6 次回の会議日程

令和3年5月頃

7 閉 会

村上市保育園等施設整備計画審議会委員名簿

(敬称略)

番号	氏 名	号数	備 考
1	仲 真人	1号委員 学識経験者	新潟青陵大学短期大学部幼児教育学科准教授
2	鈴木 正美		村上市岩船郡小学校長会 会長
3	斎藤 誠	2号委員 関係団体に 属する者	村上市区長会連絡協議会
4	黒子 秀雄		村上市民生委員児童委員協議会連合会
5	長 千恵子		村上市主任児童委員
6	川村 三千男		村上市主任児童委員
7	黒坂 圭		医療法人 新光会 村上記念病院 事務長
8	渡辺 ひろみ		村上市家庭教育支援チーム 代表 NPO法人 村上ohanaネット 理事長
9	小川 成実	3号委員 保育園等 保護者代表	第一保育園 父母の会 会長
10	佐藤 正幸		あらかわ保育園 保護者会 会長
11	高橋 智巳		向ヶ丘保育園 保護者会 会長
12	齋藤 千賀		舘腰保育園 父母の会 会長
13	本間 由貴		山北そらいろ保育園 保護者会 会長
14	増田 寛之		村上市岩船郡PTA協議会 理事
15	笠井 彩	4号委員 行政関係職員	新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部 地域福祉課 主任
事務局	中村 豊昭	村上市こども課長	
	阿部 正昭	村上市荒川支所地域振興課 課長補佐（地域福祉室長）	
	加藤 誠一	村上市神林支所地域振興課 課長補佐（地域福祉室長）	
	中嶋 琢也	村上市朝日支所地域振興課 課長補佐（地域福祉室長）	
	大滝 きくみ	村上市山北支所地域振興課 課長補佐（地域福祉室長）	
	永田 ルミ	村上市こども課 課長補佐（第二保育園長）	
	大滝 真理子	村上市こども課 課長補佐（舘腰保育園長）	
	齋藤 恵	村上市こども課 課長補佐（向ヶ丘保育園長）	
	小林 みゆき	村上市こども課 金屋保育園長	
	板垣 真里子	村上市こども課 山北そらいろ保育園長	
	平山 祐子	村上市こども課 課長補佐（子育て支援室長）	
	小林 毅	村上市こども課 子育て支援室 副参事	
	石山 留美	村上市こども課 子育て支援室 係長	
	高橋 朗	村上市こども課 課長補佐	
	渡邊 敏規	村上市こども課 子育て政策係 主任	

【資料1】

未定稿 R3.2.5 現在

第3次村上市保育園等施設整備計画 (素案)

令和3年●月



新潟県村上市

■ 目 次 ■

1. 計画策定にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P ●●
2. 保育園等を取り巻く現状と課題・・・・・・・・・・ P ●●
3. 課題解決に向けた基本的な考え方・・・・・・・・・・ P ●●
4. 具体的な整備計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P ●●
5. 資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P ●●

1. 計画策定にあたって

(1) 計画策定の目的

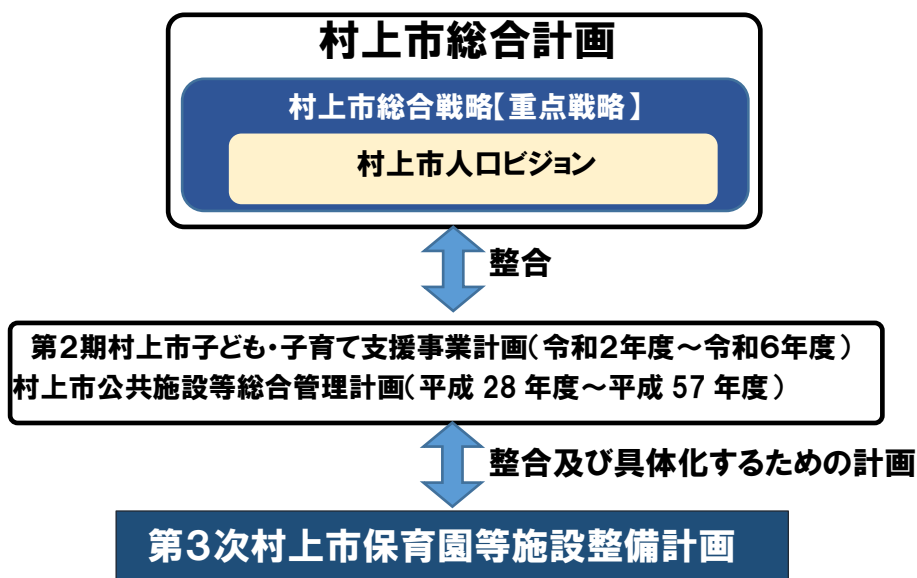
人口減少や少子高齢化が進む中で、多様化するニーズに柔軟かつ計画的に対応し子育て環境の整備を行うため、平成28年に「第2次村上市保育園等施設整備計画」を策定し保育園等の施設整備や統廃合、民営化などを推進し子育て支援の充実を図ってまいりました。

待機児童についてはゼロを維持しておりますが、就学前児童数が減少しているものの3歳未満児の入園希望数は依然多いままとなっております。しかし、保育園のほか、学童保育所や子育て支援センターなどの施設の老朽化に対する整備が進んでおらず、保育士や学童保育支援員などが十分な確保が出来ていない状態です。

このような状況を踏まえ、本計画では、令和4年度から令和8年度までの5年間の保育園等の在り方について再検討し、今後も子どもたちが安全で安心して過ごせる環境の整備を推進するため、新たに「第3次村上市保育園等施設整備計画」を策定します。

(2) 計画の位置付け

本計画は、「第3次村上市総合計画」及び他の計画との整合性を図りながら、「第2期村上市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）」及び「村上市公共施設等総合管理計画（平成28年度～平成57年度）」の保育園等関係する部分を具体化するための計画として位置付けるものとします。



（３）計画の基本方針

村上市総合計画との整合性を図りながら、次の基本方針により施設整備の検討を進めます。

- ①第２次村上市保育園等施設整備計画で定めた基本方針を踏襲することを基本として、子どもの最善の利益を考慮しながら検討を行うものとします。
- ②保育園等の老朽化が進行している中、子どもの安全と良好な保育環境を確保するため、計画的に施設整備を行っていきます。
- ③より民間活力の導入と活用を進め、効率的で効果的な保育サービスの充実を図ります。
- ④持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）に配慮した方針とします。

（４）計画の期間

本計画の期間は、令和４年度から令和８年度とします。なお、計画期間内においても、国の新たな施策等などの情報を見極め、今後の社会情勢等を的確に把握し、必要に応じて適宜見直しを行い計画変更も可能なものとします。

２．保育園等を取り巻く現状と課題

（１）はじめに

村上市の人口は平成２０年合併時の７０，０１９人から減少し続けており、令和２年４月現在では５８，８２７人と１２年間で１万人以上減少しており、人口減少と少子高齢化の進行が大きな問題となっております。出生数の減少や若者の県外流出により急激な人口減少が課題となる中、女性の社会進出に伴う低年齢児の保育ニーズが増加しており、育児休業明けなど年度途中からの入園においては、希望する保育園に入園することが難しい状況にあります。

この状況を解消するため、令和２年度に民間保育施設の認可を行って受け皿を拡充しました。新たな保育士を確保するため募集を行っていましたが、反応があまりなく保育士不足が依然として解消されない状況にあります。

また、保育園や学童保育所などでも、施設や設備の老朽化に対する整備が依然遅れております。

このような状況を踏まえ、本市のこれまでの保育施策において抱える問題点や課題などを整理し、今後の保育園等のあり方について検討を行う必要があります。

（２）保育園

①施設の老朽化等に伴う施設整備

村上地区の第一保育園、第二保育園、山居町保育園は昭和５０年代に建設された建物で老朽化が進行しており、これまで適宜、施設修繕を行って参りましたが、修繕費が増え続ける状況となっております。岩船保育園は令和２年度に大規模改修を行い外壁等の修繕を行いました。

荒川地区の金屋保育園は、雨漏りなどの支障は出ておりませんが老朽化は進んでおります。

朝日地区は、平成２９年度に統廃合を行い、平成３０年度に舘腰保育園の大規模改修を行いました。

また、高南保育園と猿沢保育園は、雨漏りなどの支障は出ておりませんが老朽化は進んでおります。

公立保育園の施設状況

(令和3年4月1日現在)

地区	施設名	定員	構造	延床面積 (㎡)	建築年月日	経過 年数	備考
村上	第一保育園	90	木造平屋建	698.76	S56.11.23	39年	
	第二保育園	100	木造平屋建	676.65	S57.11.26	38年	
	岩船保育園	120	鉄筋2階建	866.55	S61.2.3	35年	
	瀬波保育園	110	木造平屋建	694.64	H7.7.1	25年	
	山辺里保育園	130	鉄骨造平屋建	1,125.96	H17.4.1	16年	
	山居町保育園	110	木造平屋建	682.17	S54.4.1	42年	
荒川	金屋保育園	120	鉄筋平屋建	779.03	S58.10.1	37年	
	あらかわ保育園	210	木造平屋建	2,013.79	H26.4.1	7年	指定管理
神林	向ヶ丘保育園	160	木造平屋建	1,302.80	H20.4.1	13年	指定管理
	みのり保育園	130	木造平屋建	1,280.24	H21.5.1	11年	指定管理
朝日	舘腰保育園	100	鉄筋平屋建	996.28	S61.4.1	35年	
	高南保育園	90	鉄筋平屋建	1,160.40	H2.9.1	26年	
	猿沢保育園	90	鉄筋平屋建	884.19	H7.9.1	25年	
山北	山北そらいろ保育園	90	木造平屋建	993.31	H17.4.1	16年	

②人口減少への対応

0歳～5歳までの児童数は5年間で376名減少しております。各年齢層で減少しており、毎年80名程度減少し続けています。神林地区で一時微増した年もありましたが市内全体をみると、今後も人口減少と少子高齢化の流れは続くものと予想されます。

これまで、保育園の適正規模を維持するために、平成29年度に塩野町保育園を猿沢保育園に、三面保育園を舘腰保育園に、上海府保育園を瀬波保育園に統合し、平成31年度には山北にじいろ保育園と山北おおぞら保育園を統合するなど、計画的に統廃合を行って参りました。これからも子どもの利益を最優先に考えて、施設の老朽化や入園児童数の推移、地域事情等に配慮しながら統廃合を行っていく必要があります。

児童数（0歳～5歳）の推移

(各年4月1日現在)

学 齢	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	比較 R2-H28
0歳	340	329	314	244	269	△71
1歳	364	350	337	325	259	△105
2歳	373	369	344	335	336	△37
3歳	403	370	373	339	339	△64
4歳	396	396	363	370	344	△52
5歳	415	396	396	363	368	△47
合計	2,291	2,210	2,127	1,976	1,915	△376

③保育園等入園児童数の状況

保育園等入園児童数は、平成30年4月で1,488名に対し令和2年4月では1,404名と3年間で84名減少しています。また、0歳児の入園率はほぼ横ばいとなっておりますが、1、2歳児の入園率は70%まで増えてきており、児童数や園児数は減ってきているものの、入園率は増加傾向にあります。

過去5か年 地区別児童数・公立私立園児数・入園率

(各年4月1日現在)

地区名	学齢	平成28年度			平成30年度			令和2年度		
		児童数	園児数	率	児童数	園児数	率	児童数	園児数	率
村上	0歳児	173	31	17.9	152	37	24.3	134	29	21.6
	1・2歳児	341	202	59.2	355	216	60.8	295	194	65.8
	3～5歳児	566	415	73.3	530	397	74.9	524	414	79.0
	計	1,080	648	60.0	1,037	650	62.7	953	637	66.8
荒川	0歳児	58	9	15.5	55	12	21.8	44	9	20.5
	1・2歳児	155	84	54.2	121	74	61.2	97	66	68.0
	3～5歳児	216	213	98.6	221	221	100.0	198	198	100.0
	計	429	306	71.3	397	307	77.3	339	273	80.5
神林	0歳児	53	7	13.2	45	15	33.3	49	13	26.5
	1・2歳児	106	61	57.5	94	62	66.0	95	68	71.6
	3～5歳児	180	176	97.8	163	155	95.1	156	148	94.9
	計	339	244	72.0	302	232	76.8	300	229	76.3
朝日	0歳児	42	7	16.7	45	7	15.6	30	10	33.3
	1・2歳児	99	59	59.6	82	56	68.3	74	61	82.4
	3～5歳児	179	173	96.6	151	143	94.7	122	121	99.2
	計	320	239	74.7	278	206	74.1	226	192	85.0
山北	0歳児	14	3	21.4	17	3	17.6	12	2	16.7
	1・2歳児	36	15	41.7	29	24	82.8	34	21	61.8
	3～5歳児	73	68	93.2	67	66	98.5	51	50	98.0
	計	123	86	69.9	113	93	82.3	97	73	75.3
合計	0歳児	340	57	16.8	314	74	23.6	269	63	23.4
	1・2歳児	737	421	57.1	681	432	63.4	595	410	68.9
	3～5歳児	1,214	1,045	86.1	1,132	982	86.7	1,051	931	88.6
	計	2,291	1,523	66.5	2,127	1,488	70.0	1,915	1,404	73.3

※1号認定（教育）と広域入所（受託）は除く

④公立保育園職員の状況

令和２年４月１日現在の公立保育園の保育士数は、産前産後休暇及び育児休業している職員を除く正規保育士が７２名、有資格の会計年度任用職員（７．５時間勤務）が５６名、無資格の会計年度任用職員（７．５時間勤務）が４８名で、正規職員率は４０．９％となっており、有資格者率は７２．７％となっているのが現状です。平成２８年４月１日現在の正規職員率が３９．３％でしたので１．６％以上向上はしておりますが、未だに低い状況にあります。

また、ハローワークを通じての募集や、地域回覧版によるチラシの回覧などを行ってきましたが、反応は少なく、令和元年度より派遣保育士を導入しておりますが、十分な保育士の確保までには至っておりません。

⑤施設周辺環境の状況

特に村上地区の保育園はそのほとんどが市街地にあり、敷地面積が狭いことから保護者送迎用の駐車場や職員駐車場の確保が非常に困難となっております。そのため、朝夕の送迎時は、大変混雑するため周辺の交通事情に悪影響を与えております。

(3) 学童保育所

①施設の老朽化等に伴う施設整備

神林学童保育所は、併設している神林子育て支援センターと併せて、平成29年度から指定管理者制度を導入しております。建物が平成3年に建設した旧西神納保育園を利用しており、老朽化が進んでいます。

朝日学童保育所は、昭和63年に奥三面ダム発電所建設事務所として新潟県が建築したものを払い下げた建物で、1階部分を学童保育所として利用しておりますが、施設の老朽化が進んでおります。

南町学童保育所が狭隘であったため、村上南小学校の空きスペースを利用したなんしょうクラブを設置し2か所に対応しているところを1か所で保育出来るよう、統合を踏まえて新設の検討を進めてまいりましたが、結論を出すまでには至りませんでした。

学童保育所の施設状況

(令和3年4月1日現在)

地区	施設名	定員	構造	延床面積 (㎡)	建築年月	経過 年数	備考
村上	二之町学童保育所	50	木造2階建	247.80	H9.3	24年	
	南町学童保育所	40	木造2階建	201.08	H6.4	27年	
	なんしょうクラブ	50	鉄筋平屋建	173.00	S54.4	42年	学校内
	瀬波学童保育所	60	木造2階建	415.18	H22.4	11年	
	岩船学童保育所	45	木造2階建	268.50	H16.4	17年	
	山辺里学童保育所	45	鉄筋平屋建	122.04	H23.4	10年	学校内
荒川	保内学童保育所	70	木造平屋建	445.51	H28.4	5年	
	金屋学童保育所	20	鉄筋平屋建	63.75	S52.4	44年	学校内
神林	神林学童保育所	45	木造平屋建	445.63	H3.6	29年	指定管理
朝日	朝日学童保育所	40	鉄骨プレ2階建	286.49	S63.4	33年	
山北	さんぽく森のなかよし学童保育所	60	木造平屋建	994.45	H18.4	15年	指定管理

②入所児童の増加

全体の児童数は年々減少傾向にあるものの、学童の入所率は各地区とも年々増加している状況です。特に瀬波学童保育所は、地区内での宅地開発等に伴いこの5年間で登録者数が25名増えております。

学童保育所登録児童数の推移

(各年4月1日現在)

地区	施設名	定員	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	R 2
村上	二之町学童保育所 (村上小学校児童数) 【入所率】	5 0	3 9 (269) 【14.5%】	3 7 (264) 【14.0%】	4 6 (265) 【17.4%】	4 1 (249) 【16.5%】	5 0 (248) 【20.2%】
	南町学童保育所	4 0	3 3	3 2	3 3	4 2	5 0
	なんしょうクラブ	5 0	1 9	2 2	2 1	2 6	2 6
	計	9 0	5 2	5 4	5 4	6 8	7 6
	(村上南小学校児童数) 【入所率】		(298) 【17.4%】	(292) 【18.5%】	(286) 【18.9%】	(295) 【23.1%】	(297) 【25.6%】
	瀬波学童保育所 (瀬波小学校児童数) 【入所率】	6 0	5 1 (259) 【19.7%】	5 1 (254) 【20.1%】	6 3 (237) 【26.6%】	6 8 (236) 【28.8%】	7 6 (227) 【33.5%】
荒川	岩船学童保育所 (岩船小学校児童数) 【入所率】	4 5	2 8 (174) 【16.1%】	2 8 (166) 【16.9%】	2 3 (147) 【15.6%】	2 4 (140) 【17.1%】	2 4 (123) 【19.5%】
	山辺里学童保育所 (山辺里小学校児童数) 【入所率】	4 5	3 8 (214) 【17.8%】	4 0 (190) 【21.1%】	4 8 (187) 【25.7%】	5 0 (182) 【27.5%】	4 4 (173) 【25.4%】
	保内学童保育所 (保内小学校児童数) 【入所率】	7 0	6 6 (351) 【18.8%】	7 4 (347) 【21.3%】	8 8 (340) 【25.9%】	8 8 (324) 【27.2%】	9 0 (327) 【27.5%】
神林	金屋学童保育所 (金屋小学校児童数) 【入所率】	2 0	1 4 (105) 【13.3%】	1 7 (105) 【16.2%】	2 4 (108) 【22.2%】	2 0 (98) 【20.4%】	1 9 (90) 【21.1%】
	神林学童保育所 (神林地域小学校児童数) 【入所率】	4 5	5 8 (381) 【15.2%】	5 3 (379) 【14.0%】	6 1 (375) 【16.3%】	5 9 (368) 【16.0%】	6 8 (345) 【19.7%】
朝日	朝日学童保育所 (小川・朝日さくら小学校児童数) 【入所率】	4 0	4 8 (383) 【12.5%】	3 8 (274) 【13.9%】	4 3 (261) 【16.5%】	4 2 (255) 【16.5%】	4 1 (236) 【17.4%】
	朝日みどり小学校 (朝日みどり小学校児童数) 【入所率】			1 7 (108) 【15.7%】	1 5 (111) 【13.5%】	9 (97) 【9.3%】	1 1 (96) 【11.5%】
山北	さんぼく森のなかよし 学童保育所 (山北地区小学校児童数) 【入所率】	6 0	4 8 (177) 【27.1%】	4 3 (158) 【27.2%】	3 1 (158) 【19.6%】	3 7 (149) 【24.8%】	4 6 (146) 【31.5%】

※さんぼく森のなかよし学童保育所のH 3 0以前の児童数には、山北やまゆり学童保育所と山北はまゆり学童保育所の合計数を記載。

③職員の確保

学童保育所の開所時間が平日は小学校下校後から午後6時半まで、土曜日や夏休みなどの長期休業中は午前7時30分から午後6時30分までとなっており、この開所時間に対応するための職員確保が困難な上に、災害などの臨時的な学校休業の際にも同様の対応が求められており苦慮している状況です。

(4) 病児・病後児保育

平成29年7月に荒川地区にあらかわ病児保育センターを開所し、令和2年12月には村上地区にむらかみ病児保育センターを開所しており、いずれも指定管理者制度による管理運営としております。

また、令和元年12月からは朝日地区において医療法人が設置運営を始めた病児保育事業に対し補助金を交付しております。

(5) 子育て支援センター

子育て支援センターは市内に6か所設置しており、その内の山辺里子育て支援センター、上海府子育て支援センター、朝日子育て支援センターは市が直営で運営を行い、荒川子育て支援センター、神林子育て支援センター、山北子育て支援センターの3か所は指定管理者が管理運営を行っております。利用対象児童が就学前児童となっており小学生の兄姉と一緒に利用することが出来ないことや、休日の利用希望もあるため運営方法について検討する必要があります。

神林子育て支援センターは平成3年に建設した旧西神納保育園を利用しておりますが、建物の老朽化が進んできております。

上海府子育て支援センターは平成12年に建築した旧上海府保育園を利用しておりますが、設備の老朽化が進んでおります。

朝日子育て支援センターは平成14年に建築した旧三面保育園を利用しておりますが、設備の老朽化が進んでおります。

子育て支援センターの施設状況

(令和3年4月1日現在)

地区	施設名	構造	建築年月	経過年数	備考
村上	山辺里子育て支援センター	鉄骨平屋建	H17.4	16年	
	上海府子育て支援センター	木造平屋建	H12.10	20年	
荒川	荒川子育て支援センター	木造平屋建	H26.4	7年	指定管理
神林	神林子育て支援センター	木造平屋建	H3.6	29年	指定管理
朝日	朝日子育て支援センター	鉄筋平屋建	H14.4	19年	
山北	山北子育て支援センター	木造平屋建	H18.4	15年	指定管理

3. 課題解決に向けた基本的な考え方

(1) 保育園

施設や設備の老朽化が進んでいる保育園については、良好な保育環境と園児の安全を確保するためにも、早急に改修などを行うことが必要です。あわせて、送迎時の保護者や園児の安全のためにも駐車場の確保に取り組んでまいります。

また、入園率は増加傾向にあるものの、児童数の減少に伴い入園する児童数は減少しております。施設の老朽化や小学校の統廃合など地域の事情等に配慮しつつ、子どもの利益を最優先に考えながら、統廃合に取り組めます。その際、3歳未満児の受け皿を確保し、保育士不足の解消に努めながら正規率や有資格者率の向上に取り組めます。

(2) 学童保育所

老朽化が著しい施設については、安全を確保するために建て替えや空き施設への移転、空き教室の利活用などの検討を行います。入所児童が増加傾向にある施設は、保育面積を拡大するため、施設の増築や空き施設への移転、空き教室の利活用などの検討を行います。

また、学童保育所支援員の確保に努めます。

あわせて、民間活力の導入についても検討し多様なニーズに応えるよう努めます。

(3) 病児・病後児保育

市全域に病児・病後児保育のサービスを提供できるよう、引き続き山北地区への設置について検討を行います。

(4) 子育て支援センター

施設や設備の老朽化が進んでいる施設については、安全を確保するために建て替えや空き施設への移転などの検討を行います。

4. 具体的な整備計画

(1) 保育園

①村上地区

②荒川地区

③神林地区

④朝日地区

⑤山北地区

(2) 学童保育所

①村上地区

②荒川地区

③神林地区

④朝日地区

⑤山北地区

(3) 病児・病後児保育

①山北地区

②山北地区以外

(4) 子育て支援センター

①村上地区

②荒川地区

③神林地区

④朝日地区

⑤山北地区

5. 資料

資料として委員名簿と開催経過を記載する